

## 2009年 社長年頭挨拶

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 松尾 憲治）は、年頭挨拶として、社長から全役員に向け、メッセージをおくりました。社長メッセージのあらまは以下のとおりです。

### **「お客さまに安心をお届けする」ため、さらなる経営基盤の強化を図る。**

- ・ 日本経済は、サブプライム問題に端を発した金融危機のなか、株価の急落や円高の進行などを要因に、景気後退局面が長期化する可能性も現実味を増すなど、大変厳しい経済環境に直面している。
- ・ こうした環境変化は生命保険会社の経営にも影響を及ぼしており、経営基盤の健全性・安定性がますます求められているといえる。
- ・ 当社においては、これまで自己資本の充実およびリスク管理の高度化に努めてきており、十分な財務健全性を確保しているが、「お客さまに安心をお届けする」という理念のもと、さらなる経営基盤の強化に向け、2009年も取り組んでいかなければならない。

### **「明治安田チャレンジプログラム」の完全な軌道乗せに向け、全力を傾注し取り組む。**

- ・ さて、昨年は、安定的な成長の実現に向けた「明治安田チャレンジプログラム」を4月からスタートさせ、大きな改革に挑んだ1年であった。同プログラムは「基幹チャンネルの抜本的改革」「チャンネルの多様化」「経営基盤のいっそうの強化」の3つを柱に、「お客さま満足度向上」の徹底追求をめざしたもの。
- ・ とりわけ営業職員の処遇の安定化を前提に取り組んだ「基幹チャンネルの抜本的改革」は当社にとって歴史的な挑戦・改革。
- ・ 2009年は、昨年制度化した、営業職員の資質向上を図る「社内教育検定制度」と、お客さまへの定期訪問を核とする「安心サービス活動制度」を完全に軌道乗せすることに全力を傾注していきたい。

### **「お客さま満足度向上」に徹底してこだわり、大きな成果を実感できる1年としよう。**

- ・ 2006年1月にスタートした「明治安田再生プログラム」以来、今日までのみなさんの懸命な努力・取組みに感謝したい。同プログラムの目標であったお客さまや社会からの信頼回復ということでは、契約クオリティが大幅に改善していることなど、着実に前進しているものと認識している。
- ・ 「明治安田チャレンジプログラム」では、安定的な成長の実現に向け、必要と考えるさまざまな対策を掲げ、経営資源を投入し、実施している。その意味において、迎えた2009年は、まさに、これら改革の成果を勝ち取る年である。全役職員の創意工夫のもと「お客さま満足度向上」に徹底してこだわり、大きな成果を実感できる1年としよう。